

施設イチゴハダニ類の効率的防除法

西野敏勝 (長崎県総合農林試験場)

Toshikatsu NISHINO: Efficient Control Measures of the Kanzawa Spider Mite,
Tetranychus kanzawai KISHIDA and the Twospotted Spider Mite, *T. Urticae*
 KOCH on Strawberry Plants in a Plastic Green-house

イチゴのハダニ類は栽培中後期に激発する例が多いがその時期は収穫最盛期であり、奇形果の発生と農薬安全使用の面から薬剤防除が困難である。そこで、イチゴの定植直後から果実収穫開始前までの防除によって翌年4月の収穫末期までハダニ類を防除する目的で、残効性の長いヘキシチアゾクス水和剤を中心とし2, 3の薬剤を用いた体系防除を検討した。

1. 材料及び方法

試験場所は試験場ハウスで、品種はとよのか、苗の仮植が1986年7月31日、本圃定植が10月17日である。試験区は、定植時カンザワハダニが発生していたので、この種の寄生密度別に高密度区(1葉約3頭)、中密度区(1葉約0.3頭)、低密度区(1葉約0.03頭)に分け、各区5.4㎡とした。防除体系は表に示すとおり、殺成虫効果の高いポリナクチン・BPMC乳剤の散布後ヘキシチアゾクス水和剤を散布する体系、及びヘキシチアゾクス水和剤2回散布体系を各密度区に設け、散布間隔は13日とした。ナミハダニは前期の発生が少なかったため、密度区分はカンザワハダニのそれに準じて同一区を調査した。

2. 結果及び考察

ヘキシチアゾクス水和剤は、残効の長い優秀なダニ剤であるが、殺成虫効果がなく、散布時の密度が高い場合

には十分な防除効果が得られない。予備試験で、ナミハダニにおける発生密度を指標とした散布適期を検討した結果、低密度区(1葉0.1頭)、中密度区(1葉2頭)では高い防除効果を示し、密度抑制期間は約2ヵ月と推定された。高密度区(1葉14頭)ではハダニの密度が低下せず、被害が進行した。したがって、ナミハダニに対する散布適期は、1葉当たり2頭以下の場合と判断された。

そこで、イチゴの定植直後に殺成虫効果の高い薬剤を散布して、卵のふ化後幼虫が出揃う13日後にヘキシチアゾクス水和剤を散布する体系防除を検討した。その結果カンザワハダニは1葉当たり2頭以上発生している圃場でも顕著な防除効果がみられ、収穫末期までほぼ完全に防除できた。ナミハダニは定植直後ほとんど認められなかったが、無散布区では11月下旬ころから次第に密度が増加して1月上旬以降に急増した。このような状況下において、前期の体系防除により収穫終了時まで完全にナミハダニを防除することが出来た。実際の防除に際しては、ハダニの密度推定が容易でないこと、ナミハダニが栽培中後期に激発すること等から、定植後に殺成虫効果の高い薬剤を散布して約2週間後にヘキシチアゾクス水和剤を散布する体系が実用的である。

第1表 イチゴのハダニ類に対する体系防除効果

種類	密度区分*	防 除 体 系		月10														
		10月29日	11月11日	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
カンザワハダニ	高	ポリBE	ヘキシW	126	10	3	0	0	1	0	3	3	28					
		"	酸化錫W	103	9	0	0	1	0	5	76	344	1436					
		ヘキシW	ヘキシW	107	45	9	6	3	0	0	4	6	122					
		無処理	無処理	124	231	393	595	712	804	1741	3188	5251	3232					
	中	ポリBE	ヘキシW	9	1	0	0	0	0	0	0	1	2					
		ヘキシW	"	11	13	3	2	3	1	0	0	1	0					
	低	ポリBE	ヘキシW	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2					
		ヘキシW	"	0	0	1	1	1	0	3	0	3	4					
		無処理	無処理	4	3	21	113	239	118	116	76	133	0					
	ナミハダニ	高	ポリBE	ヘキシW	0	0	0	0	0	0	1	1	8	32				
			"	酸化錫W	0	0	0	0	0	0	3	7	56	369				
			ヘキシW	ヘキシW	0	0	1	0	0	0	0	9	48	1408				
無処理			無処理	0	1	5	20	2	13	101	185	463	1174					
中		ポリBE	ヘキシW	0	0	0	0	0	0	3	4	9	97					
		ヘキシW	"	1	8	5	6	3	0	0	1	8	18					
低		ポリBE	ヘキシW	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9					
		ヘキシW	"	2	3	4	6	0	0	3	26	24	34					
		無処理	無処理	0	0	15	67	125	596	2067	2734	4082	2885					

注) ポリBE: ポリナクチン, BPMC乳剤1000倍, ヘキシW: ヘキシチアゾクス水和剤2000倍
 酸化錫W: 酸化フェンチアゾクス水和剤1000倍, 数値は40株の合計成虫数(10株, 1株4葉調査)
 *定植時におけるカンザワハダニの生息密度